

＜第7回 竜神地域会議 会議録＞

日 時 令和7年10月28日（火） 18：00～19：20

場 所 竜神交流館 多目的ホール

出席者 委 員 13名

事 務 局 吉澤支所長、中野副支所長、松原副主幹、鈴木担当長

1 報告事項

（1）安全・安心なまちづくり「交通安全対策事業」の進捗について

①移動式赤色回転灯を活用した危険箇所での交通安全啓発

⇒9/22(月)竹下自治区で実施

②10/19(日)竹下自治区スポーツフェスティバルでの出展

⇒交通安全危険箇所マップと赤色回転灯の活用について PR

③スマートフォンアプリ内バナー広告を利用した交通安全啓発事業について

⇒10/1からの実施状況を報告

（2）高岡4地域合同事業の進捗について

①高岡ファンまつり開催報告

事務局より高岡ファンまつり開催報告について説明

②トヨタ自動車堤工場「堤秋フェスタ2025」出展報告

ラリージャパン PR と道路交通法改正（自転車の交通違反に青切符適用）を周知

（3）第11期地域会議委員の選出について

①10月8日（水）第1回竜神地域会議委員選考委員会を開催

事務局より報告

②地域会議委員の公募について

事務局より公募の募集について説明

2 協議事項

（1）防災ハンドブックの活用促進についてグループ協議

«興味をもって読んでもらえる工夫»

A グループ

- ・1-2 ページの地図それぞれが小さいので、いつでも見られるように、電子化してスマートで拡大できるようにしたらどうか。
- ・自分の家がどこにあるかわかるようにしないと興味を持たれない。
- ・自分の地域別にもっと詳しくわかるようにした方が良い。
- ・指定避難所が4か所では少ない。臨時避難所がわかるようにする。
- ・地図上の指定避難所にトイレの下水処理があるかどうかの記載が必要。
- ・子どもでも理解できる文章にする（表現がかたい、字が小さい）

B グループ

- ・表紙の防災の文字が目立っていない。

- ・全体として字が小さい。
- ・B5 サイズの方が手には持ちやすいが、地図は A4 の方が良い。
- ・ファイルから出しにくい。
- ・情報量は多すぎても見てもらえない。
- ・自助の方法に特化し、最低限のやることをわかりやすくしては
- ・映像（DVD など）でも見られるとみんなで見ることができる。

C グループ

- ・字が多く小さいのでイラストがあるとよい。
- ・イラスト付きで分かりやすく行動がわかる情報をリスト化
- ・防水対応、A5 サイズ
- ・災害によって分ける
- ・QR コードで動画や音声メッセージ
- ・持ち出しリストの細分化
- ・季節ごとの見直しチェック
- ・豆知識、防災あるある
- ・タイムラインを追加
- ・避難者名簿の追加

3 連絡事項

以下、事務局より説明

- (1) 11月2日（日）竜神ふれあいまつりにおける交通安全／ラリー啓発
- (2) 12月1日（月）赤色回転灯による交通安全街頭啓発（竹下自治区）
- (3) 「情報誌クローバー」の配布について

★次回開催

11月25日(火) 午後6時00分～